



平成 26 年 2 月 18 日  
海上保安庁

## 平成 25 年度海洋情報部研究成果発表会の開催について

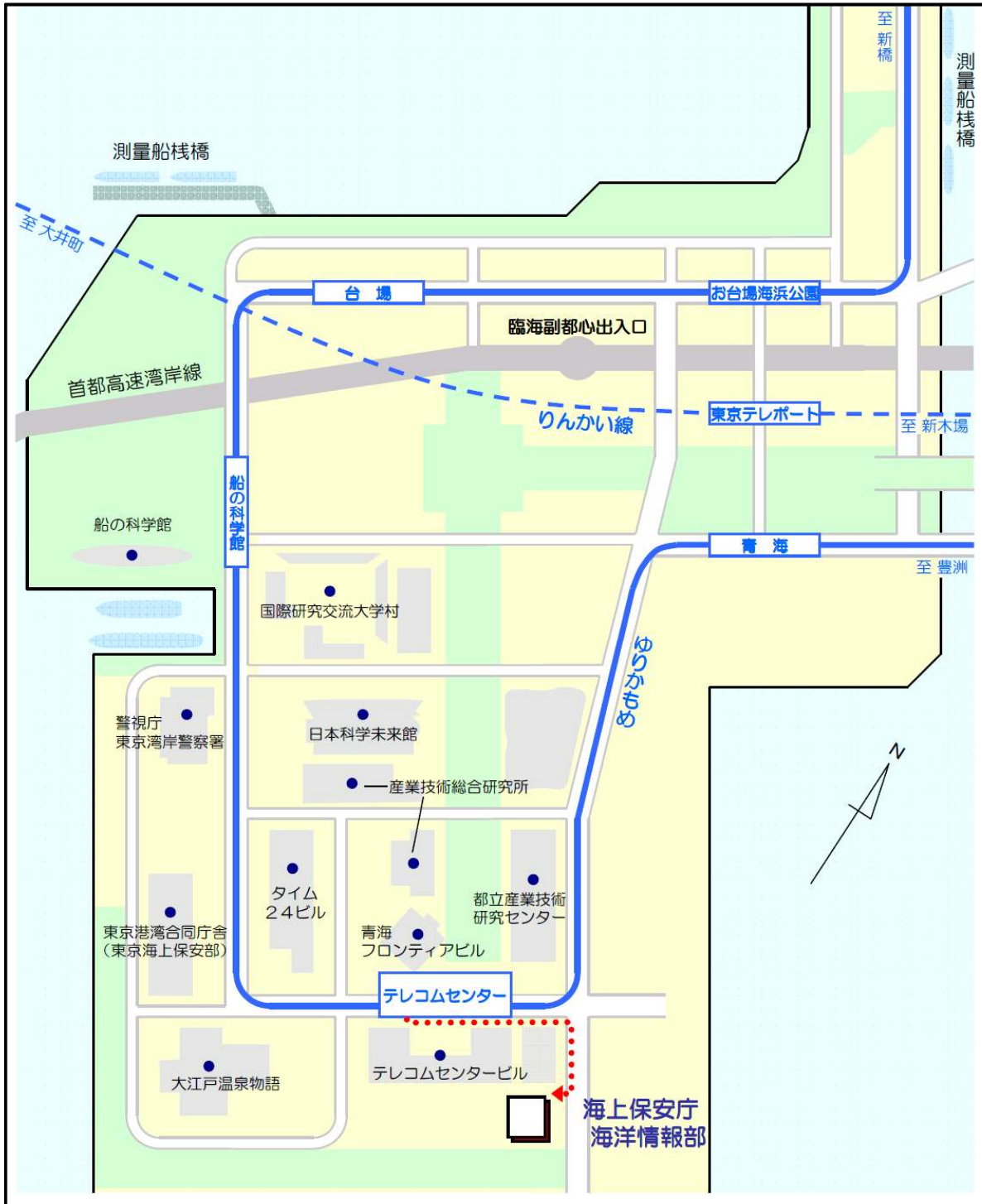
海上保安庁海洋情報部では、我が国の産業や国民生活を支える海上交通の安全確保、海洋に起因する災害への対応、海洋環境の保全、海洋権益の保全、さらには海洋情報の円滑な流通を図るため、最先端の調査・研究・開発を行っており、その成果を分かりやすくご紹介するため、毎年「研究成果発表会」を開催しています。

今年度は、古村孝志教授(東京大学地震研究所)による基調講演「東北地方太平洋沖地震に学び、南海トラフ巨大地震に備える」に引き続き、「地震と津波」をメインテーマとして開催することとしております。

### 記

1. 開催日時  
平成26年3月10日(月)13:15-17:45(12:50 開場)
2. 会 場(別紙1「会場へのアクセス」をご参照下さい)  
海上保安庁海洋情報部 国際会議室(10階)  
東京都江東区青海2-5-18 国土交通省青海総合庁舎
3. プログラム  
別紙2「平成25年度海洋情報部研究成果発表会プログラム」をご参照ください。
4. 参加費等  
入場無料です。事前登録の必要はありません。

# 会場へのアクセス



## 平成 25 年度海洋情報部研究成果発表会プログラム

日 時:平成 26 年 3 月 10 日(月) 13:15-17:45(12:50 開場)

会 場:海上保安庁海洋情報部 国際会議室(10 階)

主 催:海上保安庁海洋情報部

共 催:一般財団法人日本水路協会

### 開会挨拶

13:15-13:20 海洋情報部長 谷 伸

### 口頭発表

#### セッション 1:地震と津波

- (1) 13:20-14:10 基調講演:東北地方太平洋沖地震に学び、南海トラフ巨大地震に備える  
東京大学地震研究所 古村孝志

14:10-14:20 休憩

- (2) 14:20-14:40 海洋情報部が実施する地震・津波防災対策  
海洋調査課 岩淵洋
- (3) 14:40-15:00 南海トラフにおける東北地方太平洋沖地震前後の海底地殻変動  
海洋調査課 海洋防災調査室 横田裕輔
- (4) 15:00-15:20 領海・EEZ 調査から明らかになった南西諸島海溝における沈み込み構造  
海洋調査課 及川光弘

15:20-15:40 休憩およびポスター発表コアタイム

#### セッション 2:一般テーマ

- (5) 15:40-15:55 2013年西之島火山噴火の特徴  
技術・国際課 火山調査官 伊藤弘志
- (6) 15:55-16:10 AUVIによる第一奄美海丘の調査結果  
技術・国際課 海洋研究室 栗田洋和
- (7) 16:25-16:40 海洋短波レーダーで観た相模湾の流況特性  
環境調査課 西村一星
- (8) 16:55-17:10 連続観測装置が捉えた東京湾の青潮の姿  
環境調査課 森岡裕詞

その他 水路技術奨励賞 受賞講演(2 件予定)

### 閉会挨拶

17:10-17:15 技術・国際課長 仙石新

## ポスター展示(13:00~17:45)

- (1) 南海トラフ巨大地震を想定した津波防災情報図  
海洋調査課 海洋防災調査室 氏原直人
- (2) 1771年明和地震津波想定波源域付近の地形と地震学的構造  
技術・国際課 海洋研究室 西澤あずさほか
- (3) 奄美大島・トカラ列島周辺海域における地質構造  
海洋調査課 大陸棚調査室 及川光弘ほか
- (4) 地殻構造探査の再解析結果から導かれた小笠原海台沈み込み帯付近の構造  
海洋情報課 金田謙太郎ほか
- (5) 日本海東縁部海底地形のアナグリフ画像  
海洋調査課 泉紀明ほか
- (6) 地殻構造探査調査結果を反映した3次元重力モデルによる地殻の厚さの計算  
海洋調査課 大陸棚調査室 藤岡ゆかり
- (7) 2013年西之島火山噴火活動  
海洋調査課 小野智三
- (8) 東北地方太平洋沖地震後の海底地殻変動(~2014年1月)  
海洋調査課 海洋防災調査室 渡邊俊一ほか
- (9) GPS精密観測により地殻変動成分を除去した海面高の長期変動  
海洋調査課 海洋防災調査室 大市一芳
- (10) 国際海底地形名の最近の登録状況  
技術・国際課 海洋研究室 小原泰彦
- (11) 来島海峡における潮流観測手法  
環境調査課 西村一星
- (12) 次世代電子海図国際規格への対応  
技術・国際課 海洋研究室 林和樹ほか
- (13) 海洋台帳の現状について  
海洋情報課 沿岸域海洋情報管理室 吉川貴子